

8 月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">個人</span> 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL:神戸、天野
		報告日	8/25		
山 域	八ヶ岳	山行日	15 年 8 月 22 日 (土) -23 (日)		
山 名	赤岳・硫黄岳				

山行目的	南八ヶ岳を楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	----------	--------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者



2.5 万分の 1 地図: 八ヶ岳西部

8/21(金) 曇り時々雨	10:55 文三郎尾根分岐休憩 ウェア調整(2750m)
19:00 天野宅発 21:50 八ヶ岳山荘の駐車場着 仮眠所泊(1490m)	11:30 赤岳 休憩(2899m)
8/22(土) 曇り	12:50 横岳南の急登休憩(2800m)
5:25 八ヶ岳山荘発(1490m)	13:30 横岳(奥の院)休憩(2829m)
6:05 美濃戸山荘手前橋休憩(1700m)	14:10 硫黄岳山荘着(宿泊) (2650m)
7:00 休憩(1980m)	8/23(日) 曇り
7:55 休憩(2240m)	6:00 山荘発
8:20 行者小屋(2350m)	6:25 硫黄岳(2760m) 休憩
8:35 文三郎尾根から阿弥陀コルへの分岐(2400m)	6:45 赤岩の頭分岐(2650m)
9:05 休憩 (2600m)	7:35 赤岳鉱泉 休憩(2215m)
9:20 阿弥陀中岳のコル	8:55 美濃戸山荘 休憩(1720m)
9:45 阿弥陀岳(2807m)	9:55 八ヶ岳山荘着(2650m)
10:15 コルに戻る	
10:25 中岳	
10:35 中岳直下コル休憩	

〈山行報告〉 集会後のノミネーションで中堅を自負する二人が赤岳に行っていないことが判明。小屋の豊富な山域なので山小屋泊まりとする事とした。

薄暗い中、登山開始してのんびり登山するつもりがペース配分できなかった。山岳部伝統のスタート時にゆっくり足を運ぶのにまだ慣れていない私だった。

当初の計画をゆっくり目にしたので、上記コース時間は楽々登山かと思われるが、実際には体調不良者により、かつかつの時間となってしまった。以後の反省としたい。

以降、よく紹介のされているコースなので状況説明は割愛する。



赤岳頂上

確認  
(リーダー)  
神  
15/08/23  
戸  
作成  
(報告者)  
神  
15/08/23  
戸

〈リーダー所見〉 雪の付いた時にどこに行くかが気になったが、阿弥陀岳については斜度がきついなと感じた。ガスだったので、学習院大遭難の場所は遠望できなかったが確か南だったかと思う。山岳部ではザレ場で石を転がさないような歩き方や岩場の踏み跡の見分け方の指導はされると思うが伝承は難しいと感じた。